

「英語教育の在り方に関する有識者会議」(第5回)
(2014.06.18 文部科学省)

言語活動における「即興力」の育成

～「メモに基づいたスピーキング指導」を通して～

秋田県大仙市立大曲中学校

教諭兼教育専門監 吉澤 孝幸

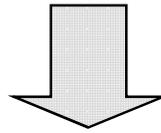
本日の概要

1. 本実践における「即興力」の規定
2. なぜ、「即興力」か
3. 手段としての「学習到達目標」と「拠点校制度」
4. 授業改善の切り口 「読むこと」・「話すこと」
5. 分析とまとめ

1. 本実践における「即興力」の規定

「読む」→「話す」における「即興力」

【読むこと】**初見で** 読んだ英文の概要や要点など、必要となる情報をつかむことができる力。



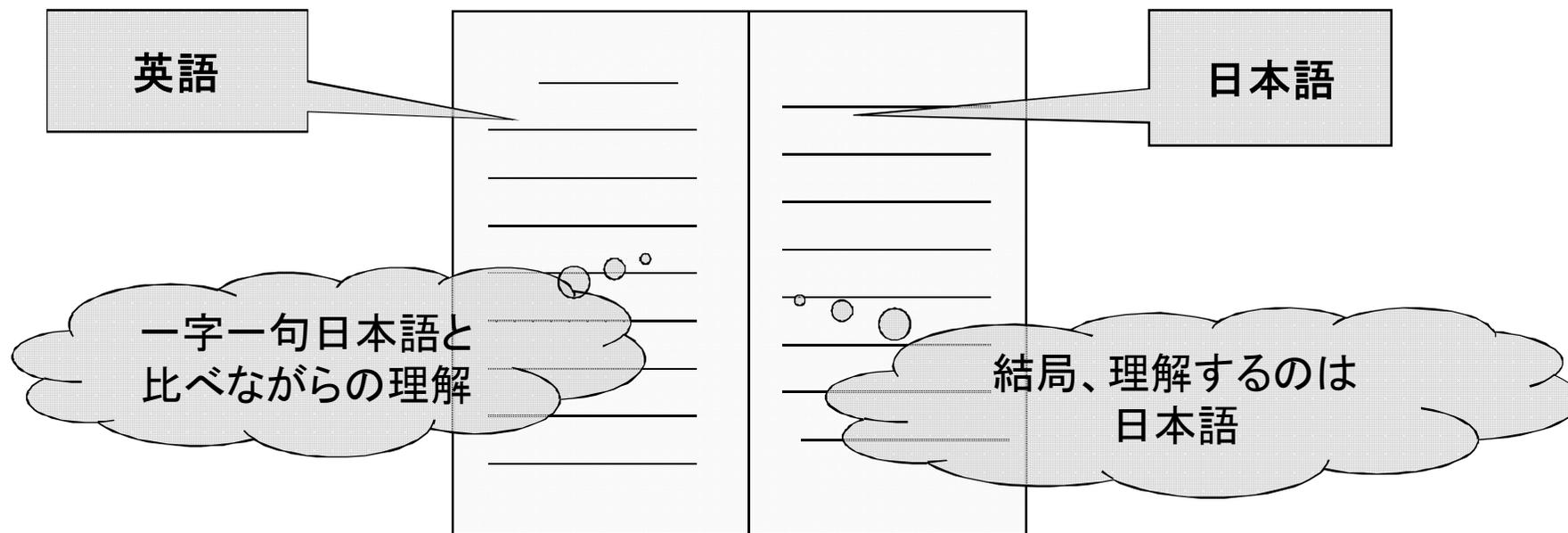
【話すこと】 伝えようとする内容を整理し、自分で作成した**メモに基づいて**口頭で伝えることができる力。

英文原稿は書かない

2. なぜ、「即興力」か？

「読むこと」における問題点

多くの学校では、対訳よる英文理解



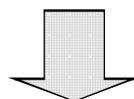
「何をもって『理解した』とするのか」

「話すこと」における問題点

原稿を書く → 暗記 → 発表

このプロセスをスピーキングと見なしていた…

果たして、コミュニケーション能力につながるかどうか…



● 目指す方向性 ●

暗記から脱却し、最終的には **即興**で 情報や考えを伝えることができるようになるための **橋渡し** として、「メモに基づいたスピーキング指導」を行う。

3. 手段としての「学習到達目標」と「拠点校制度」

目標達成のための「手段」と「形態」

実践・検証に際しては、拠点校・協力校制度を活用し、複数の教員の協力を得た。



【目的】
授業改善
「即興力の育成」

手段

改善の手段として「CAN-DO」形式の学習到達目標を取り入れた。

「CAN-DO」形式の学習到達目標

なぜ、手段として取り入れたか



これまでは、英語科教員がそれぞれのスタイルで授業

「どの方向を向いて授業をするのか」が定まるのでは・・・

方向目標の共有

Teamを組む必要性

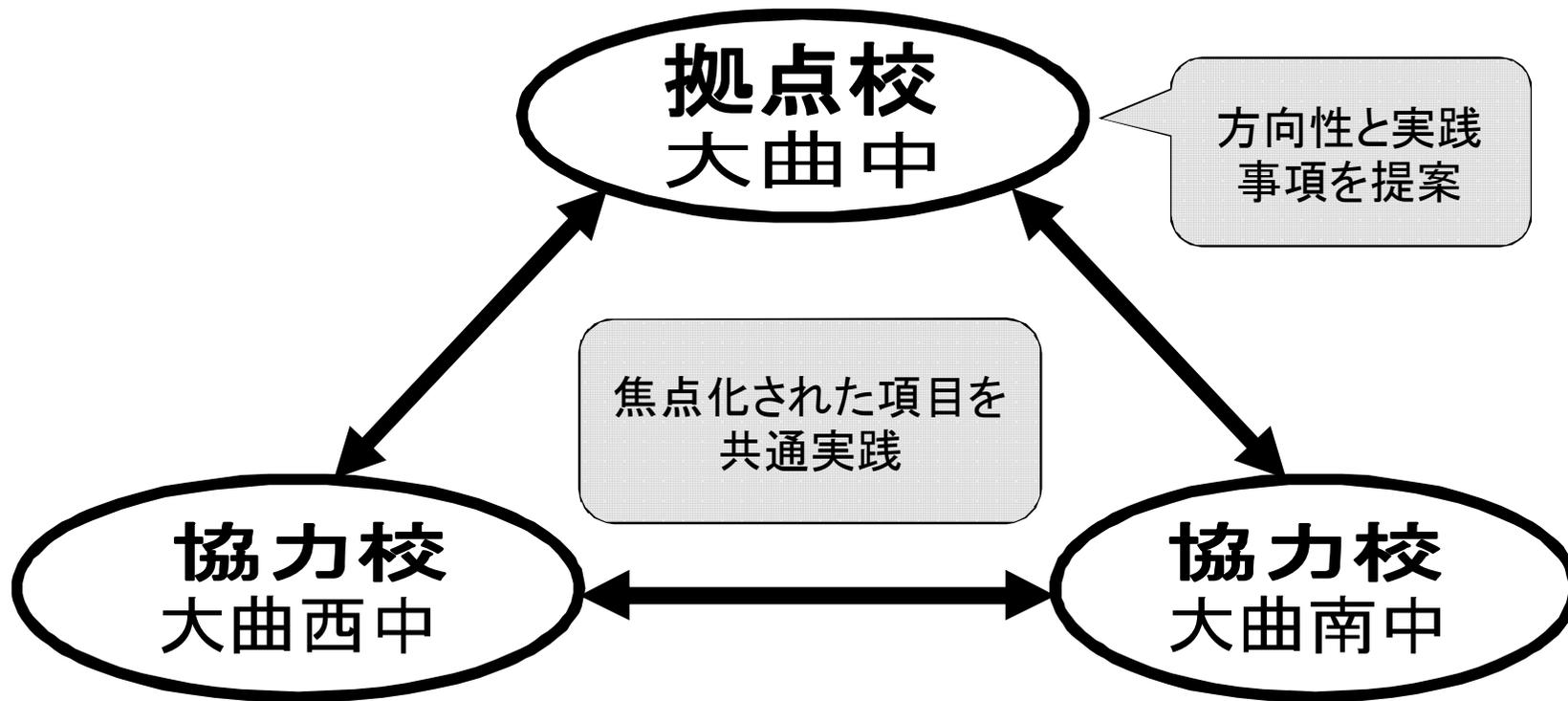
曲中「CAN-DO リスト」

学年	段階	Listening	Reading	Speaking	Writing
3	Grade 9	<p>12 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を2回聞き、概要や要点を把握した上で、詳細情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>22 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を読み、概要や要点を把握した上で、詳細情報を理解することができる。 [例] 読書 (Read and Share) / 筆記テスト</p>	<p>32 社会的な話題を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で、事実・感想・意見を区別して話すことができ、質問に対して適切な日本語を返すために質問に対応することができる。 [例] 発表の練習 / 朗読練習 / 筆記テスト</p>	<p>42 社会的な話題を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で事実・感想・意見を書くことができ、内容的に関連した質問に対する回答を正確に書くことができる。 [例] レポート / 筆記テスト</p>
	Grade 8	<p>13 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を2回聞き、概要を把握した上で、話し手が最も伝えたい情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>23 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を読み、概要を把握した上で、書き手の最も伝えたい情報を聞き取ることができる。 [例] 読書 (Read and share) / 筆記テスト</p>	<p>33 社会的な話題を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で、事実・感想・意見を区別して話すことができ、質問に対応することができる。 [例] スピーキングテスト / 発表の練習 / 筆記テスト</p>	<p>43 社会的な話題を扱ったテーマについて、事実・感想・意見をまとまりのある構成で書くことができる。 [例] レポート (I am a 14-year-old Japanese.)</p>
	Grade 7	<p>14 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を2回聞き、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>24 社会的な話題をテーマとした英文（英検3級レベル）を読み、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] 読書 (Read and share) / 筆記テスト</p>	<p>34 社会的な話題を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で話すことができ、質問に対して適切な回答ができる。 [例] スピーキングテスト (dialogue)</p>	<p>44 社会的な話題を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で事実・感想・意見を区別して書くことができる。申し出に対して適切な回答を書くことができる。 [例] レポート (Dialogue)</p>
2	Grade 6	<p>15 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を2回聞き、概要や要点を把握した上で、詳細情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>25 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を読み、概要や要点を把握した上で、詳細情報を理解することができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>	<p>35 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で、感想・意見を区別して話すことができ、質問に対し必要な回答ができる。 [例] 発表の練習 / スピーキングテスト</p>	<p>45 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で感想・意見を書くことができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>
	Grade 5	<p>16 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を2回聞き、概要を理解した上で、話し手が最も伝えたい情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>26 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を読み、概要を把握した上で、書き手の最も伝えたい情報を聞き取ることができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>	<p>36 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で事実を報告することができる。質問に対し回答ができる。 [例] スピーキングテスト (What's the main point?)</p>	<p>46 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、まとまりのある英文で事実を適切に報告することができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>
	Grade 4	<p>17 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を2回聞き、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>27 学校生活や地域社会等をテーマとした英文（英検4級レベル）を読み、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>	<p>37 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、聞き手が十分理解できるように描写・説明することができる。質問に対し必要な回答ができる。 [例] スピーキングテスト (Show and Tell)</p>	<p>47 学校生活や地域社会を扱ったテーマについて、まとまりのある構成で描写・説明する英文を書くことができる。 [例] 読書練習 / 筆記テスト</p>
1	Grade 3	<p>18 友達や家族をテーマとした英文（英検5級レベル）を2回聞き、概要を把握した上で、話し手の最も伝えたいことを理解することができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>28 友達や家族をテーマとした英文（英検5級レベル）を読み、概要を把握した上で、書き手の最も伝えたい情報を聞き取ることができる。 [例] 筆記テスト</p>	<p>38 自分や家族を扱ったテーマについて、まとまりのある文で相手理解できるように話すことができ、質問に対し必要な回答ができる。 [例] スピーキングテスト</p>	<p>48 自分や家族を扱ったテーマについて、正しい文法構造で意味の通じる英文を書くことができる。 [例] 筆記テスト (自分の説明や話の相手相手)</p>
	Grade 2	<p>19 友達や家族をテーマとした英文（英検5級レベル）を2回聞き、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト</p>	<p>29 友達や家族をテーマとした英文（英検5級レベル）を読み、条件に応じて必要な情報を聞き取ることができる。 [例] 筆記テスト</p>	<p>39 自分や家族を扱ったテーマについて、写真的な資料を使い簡単な英語で描写・説明することができる。質問に対し必要な回答ができる。 [例] スピーキングテスト</p>	<p>49 自分や家族を扱ったテーマについて、写真的な資料をもとに正しい文法構造で描写・説明する英文を書くことができる。 [例] 筆記テスト / 筆記テスト</p>
	Grade 1	<p>11 アルファベットを聞いて、どの文字が理解することができる。身の回りのおぼろげな単語や数字などを聞き取ることができる。 [例] リスニングテスト / 単語は読み取った</p>	<p>21 アルファベットを正しく認識することができる。自分や周囲の人、物についての簡単な文を理解することができる。 [例] 読書 / 筆記テスト</p>	<p>31 アルファベットや簡単な単語について、正しく発音することができる。 [例] 発音の練習 / 朗読練習</p>	<p>41 アルファベットの大きな文字・小さな文字や符号を正確に認識し語と語の区別りに注意して文字や英文を正しく書くことができる。 [例] 読書練習 / ティップス / スピーキングテスト</p>

● 例文：「例文は教科書本文と同じ構成」 / 「与えられた条件に読み、例文が教科書本文と異なる構成とする例文」
● 例文：条件としてどのような状況かについて「主要な情報をまとめたもの」

● まとまりのある文：それぞれがわかるべき内容を扱っている文 / 一貫性のある文
● キーワード：内容を構成する単語の中で、題意上「大切な」と思う単語を読み手/話し手の判断

拠点校・協力校事業を活用



地域全体としての指導力・評価力の向上

4. 授業改善の切り口

メモに基づいたスピーキング指導
～「読むこと」と「話すこと」の統合において～

「理解する」とはということか？

英文を理解

高校での口頭要約を
「方向目標」として

本校では

読んだ内容の概要や要点を第三
者に誤解なく伝えることができる

これをもって“理解した”
と規定しよう

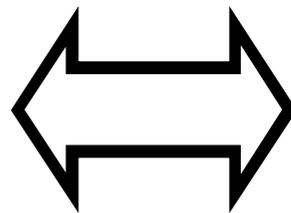
理解できているかどうかは、口に出してみないとわからない。

「読むこと」の位置付けの変化

情報収集 表現の取り込み



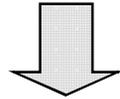
教科書本文



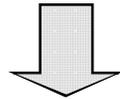
目標とする活動

「話すこと」のスマールステップとして

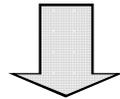
①伝える内容を整理する。



②キーワードでメモを構成する。



③頭の中で英文を構成し、伝える。



④書いて、うまく伝えられなかった部分を修正する。

生徒のメモ

Part-time job



I think busy < skillful

Maybe family → understand

↳ excited

□ Thanks. learn important

money

“Importance”書く段階で
フィードバック

“I am a 14-year-old Japanese.”



Z Notes

米国大使館首席公使
ジム・ズムワルトの公式ブログ



ブログ・Top

ご意見・ご提案

略歴

大使館

国務省

English

「トモダチ作戦」と日本人の少女

(2011年4月5日)

「I am a 14-year-old Japanese (私は14歳の日本人です)」。先月こんな題名のメールが、「トモダチ作戦」の後方支援に当たる米海軍第7艦隊旗艦「ブルーリッジ」艦上でその日の仕事を始めたばかりのマイク・モーリー少佐の目に止まりました。

メールは北海道に住む「シホ」と名乗る日本人の少女からで、助けを求める彼女の思いがたどたどしい英語で書かれていました。父親の漁船が津波にさらわれてしまったので、これを探するために米海軍に力になってもらえないかと尋ねてきたのです。モーリー少佐は、少女が冷静な、節度を持った態度で助けを求めていることに胸を打たれました。



津波で沖合いに流されていた宝亀丸の船影を写真に収めた時、米海軍は、この漁船がシホさんとご家族のもとに戻る手助けができると思ってもみませんでした。



AMERICAN VIEW

アメリカン・ビュー
アメリカの素顔を映すマガジン





初見の英文を読んだ後作成したメモ

A sent e-mail

B ↳ very great

C ↳ made, surprised

D ↳ good model

「話した英語」を書くことで確認・修正

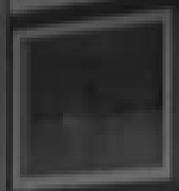
- A. Shiho sent an e-mail in English.
- B. I think she is very great.
- C. That made me surprised.
- D. To me, she is a good model.



Today's Story
Let's share our pride and joy
Pride and
skill
we need!



其
其
其



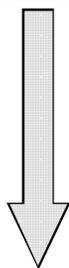




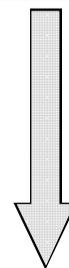
5. 分析とまとめ

「拠点校・協力校制度」の中での検証

拠点校が協力校へ及ぼす影響はどの程度で、協力校の教員はどのような意識をもっているか。

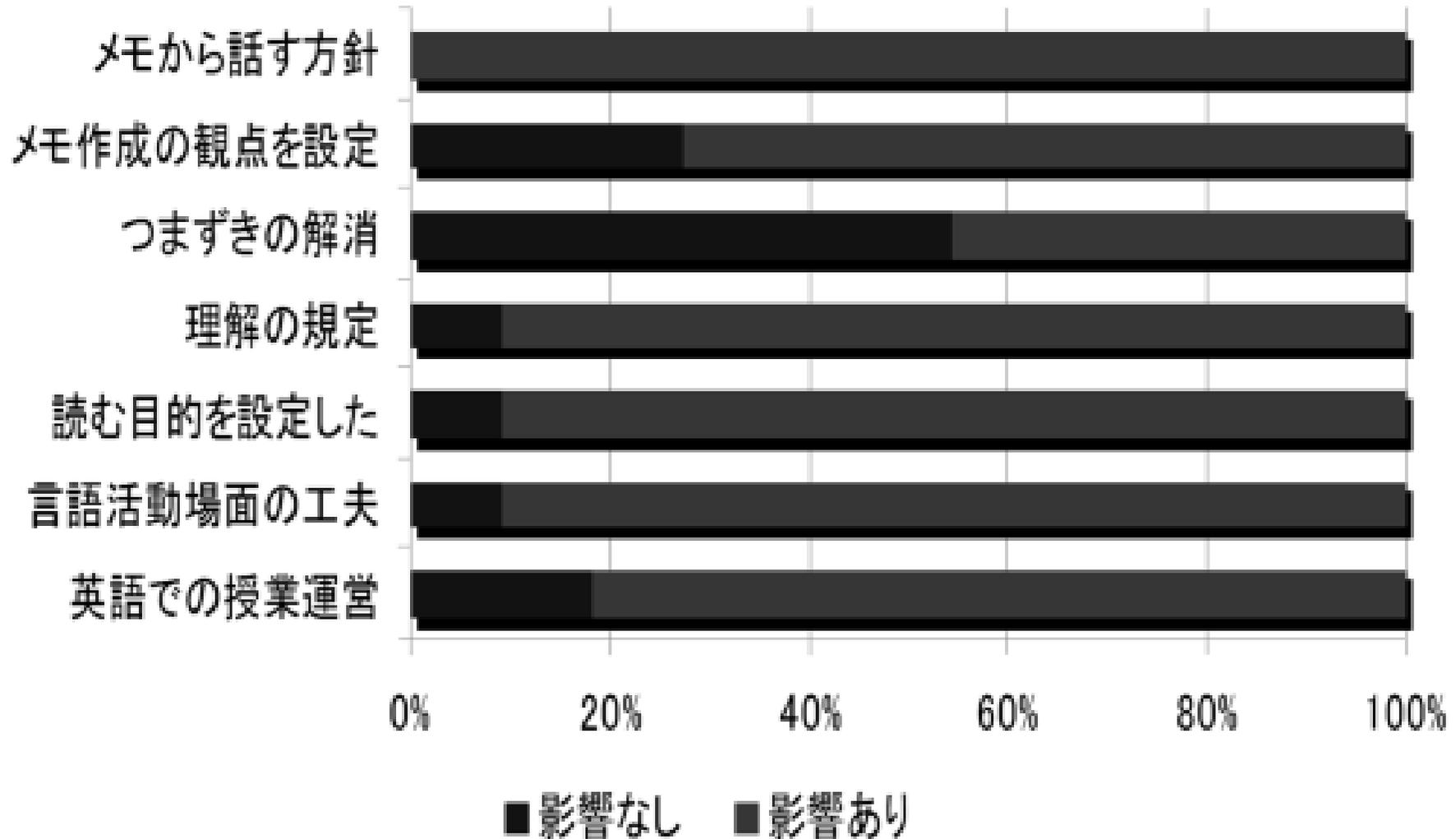


- ・影響があった実践項目
- ・影響の程度

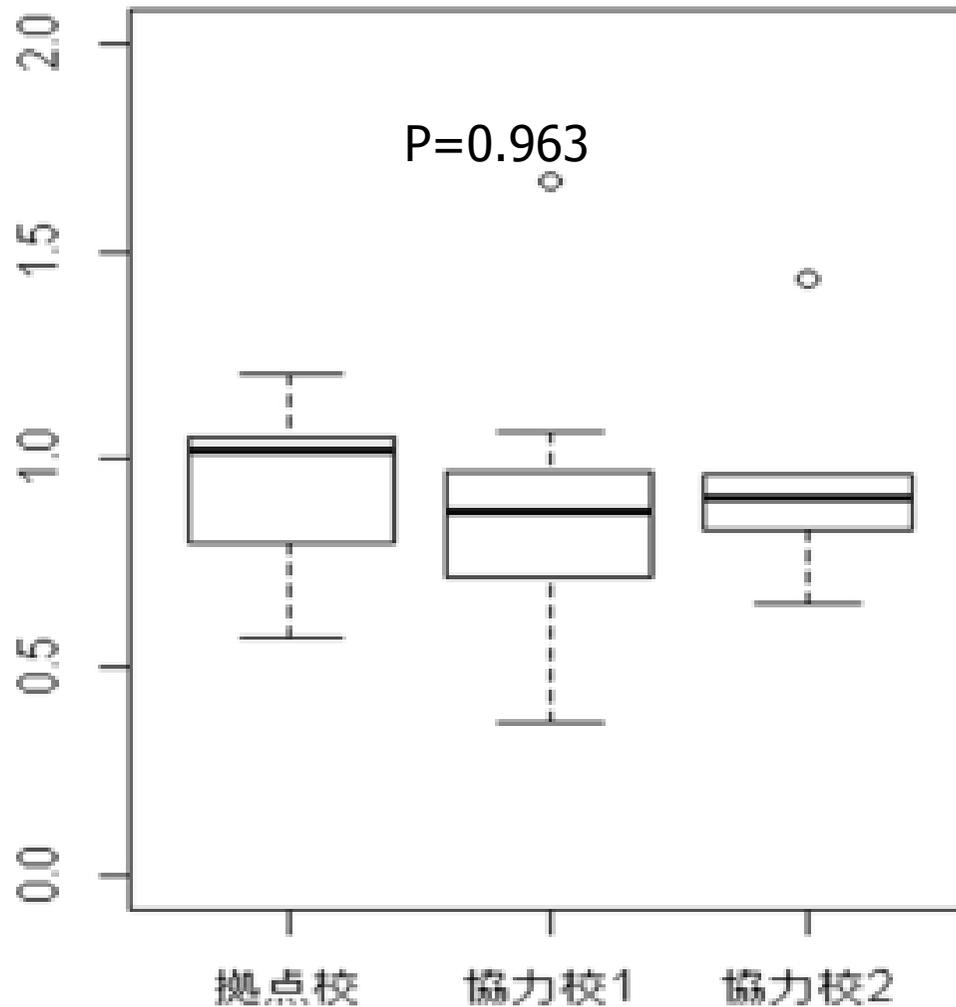


- ・共通実践に対する教員の意識
- ・生徒の意識

拠点校から受けた影響



Likert Scale による比較



質問紙の回答において、「積極的肯定」の統計学的な有意差を認めない(左図)。



3校の生徒ともに指導方法に対する積極的肯定の割合が高いと言える。



拠点校と協力校で差を生じさせることなく、取り入れた手法の効果を波及させる可能性が期待できる。

まとめ

□小学校で外国語が教科化になるという動きを受け、中学校でどこまで英語教育を引き上げていくか。一見うまくいっているように見える授業もコミュニケーション能力の育成にはつながっていないことが多い。

□これからは「即興力」を養成することが重要。

□授業を起点にして、いかに教室外で積極的に英語と接する機会を生徒自らつくることができるか。